

特別支援学校における 医療的ケアコーディネーター

千葉県立松戸特別支援学校

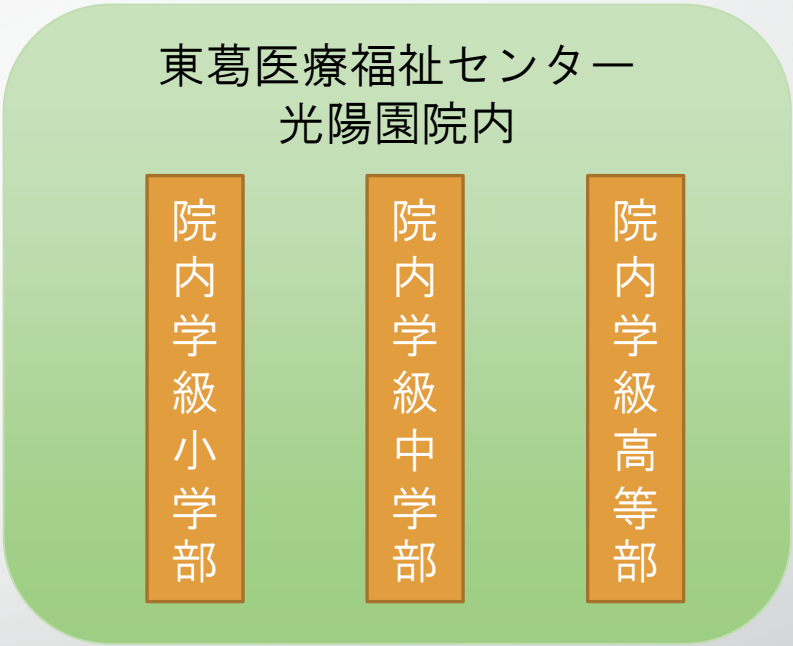
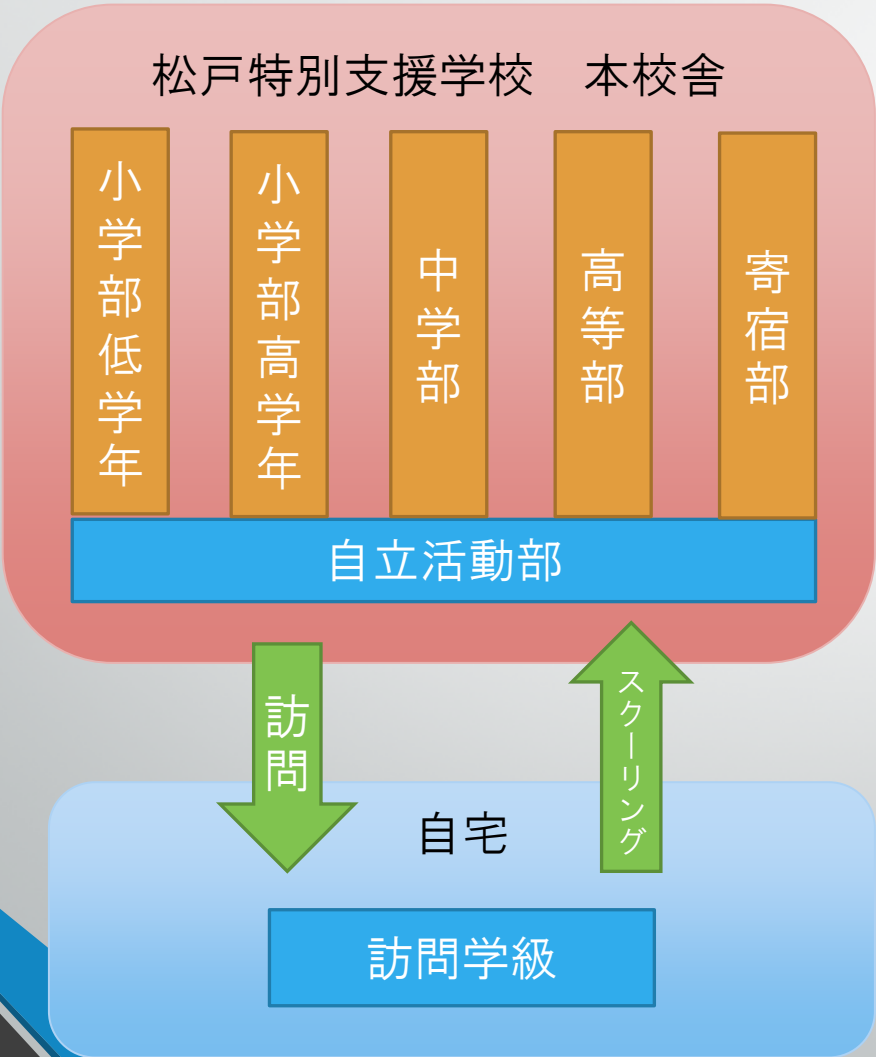
医療的ケアコーディネーター

馬場 麻衣子

松戸特別支援学校の概要

- 千葉県北西部で唯一の肢体不自由学校として昭和44年に開校する。
- 児童生徒の居住する市町村は、松戸市を中心に柏市、流山市、鎌ヶ谷市、我孫子市、野田市、白井市、印西市など広範囲にわたる。

子どもたちの学びの場



児童生徒数

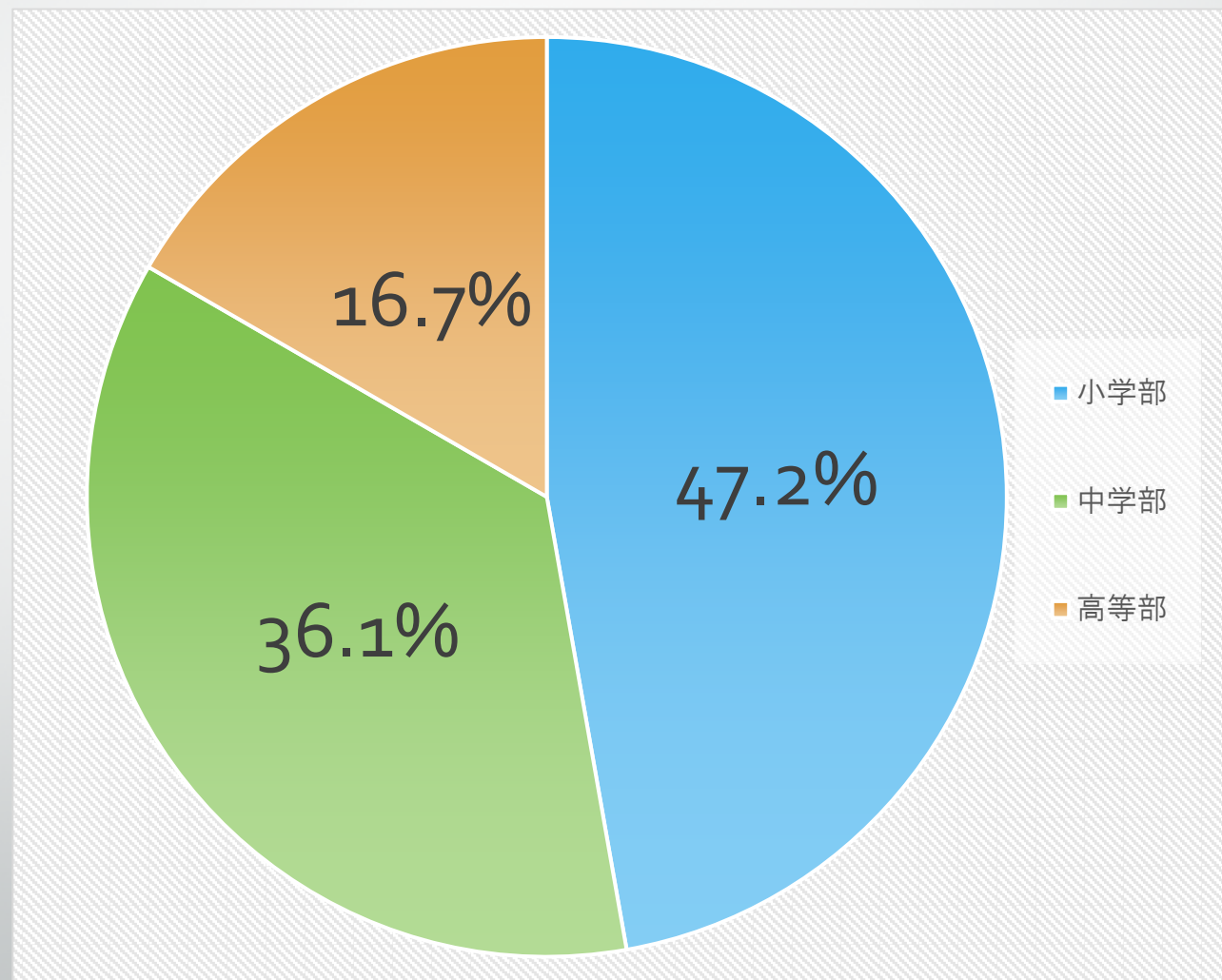
- 小学部 97名（うち訪問9名、院内10名）
- 中学部 65名（うち訪問4名、院内6名）
- 高等部 43名（うち訪問4名、院内2名）

計 205名

医療的ケアを必要とする児童生徒数

- 小学部 17名
- 中学部 13名
- 高等部 6名

計 36名



学校生活で行われる主なケア内容

	小低 (13)	小高 (4)	中 (13)	高 (6)	合計 (36)
吸引	11	3	12	4	30
注入 (胃、腸ろう)	8	2	11	4	25
注入 (経鼻)	1	1	2	0	4
導尿	2	1	0	0	3
その他	呼吸器3		酸素療法2 膀胱瘻2		

1日9名の看護師でケアを行っています。

近年の本校における医療的ケアの傾向

- 児童生徒数の増加に伴い、医療的ケアを必要とする児童生徒数も増加
- 人工呼吸器の児童の増加
- 複数のケアが必要な児童生徒の増加

医療的ケアコーディネーターとは

- 教育の中で行われる医療的ケアを安全に実施するため関係者同士の連携を図る（コーディネートする）者

※医療的ケア児等コーディネーターとは異なり研修を受ける資格所有者ではない

医療的ケアコーディネーターの役割

校内の実施体制の
連絡・調整

校内での
安全な
医療的ケ
アの実施

主治医・指導医・
看護師等との
連絡・調整

保護者との
連絡・調整

医療的ケアに関する
書類の管理・保管

教員と看護師の協働

千葉県では医療的ケアを
教育の一環として捉えています！

- 子どもたちが医療的ケアを受けることも学習の一つ

コミュニケーション

自己表現

体調管理

医療的ケアコーディネーターとは

- 本校では医療的ケアコーディネーターとして2名の担当者がいます。
- 保健室にて看護師や養護教諭と連携を図っています。
※学校によって所属が異なり、自立活動部や訪問部、学級担任を兼任しながら医療的ケアコーディネーターとして動いている場合もあります。

医療的ケアコーディネーターの1日

- 児童生徒登校

第二保健室

バイタルチェック

物品確認

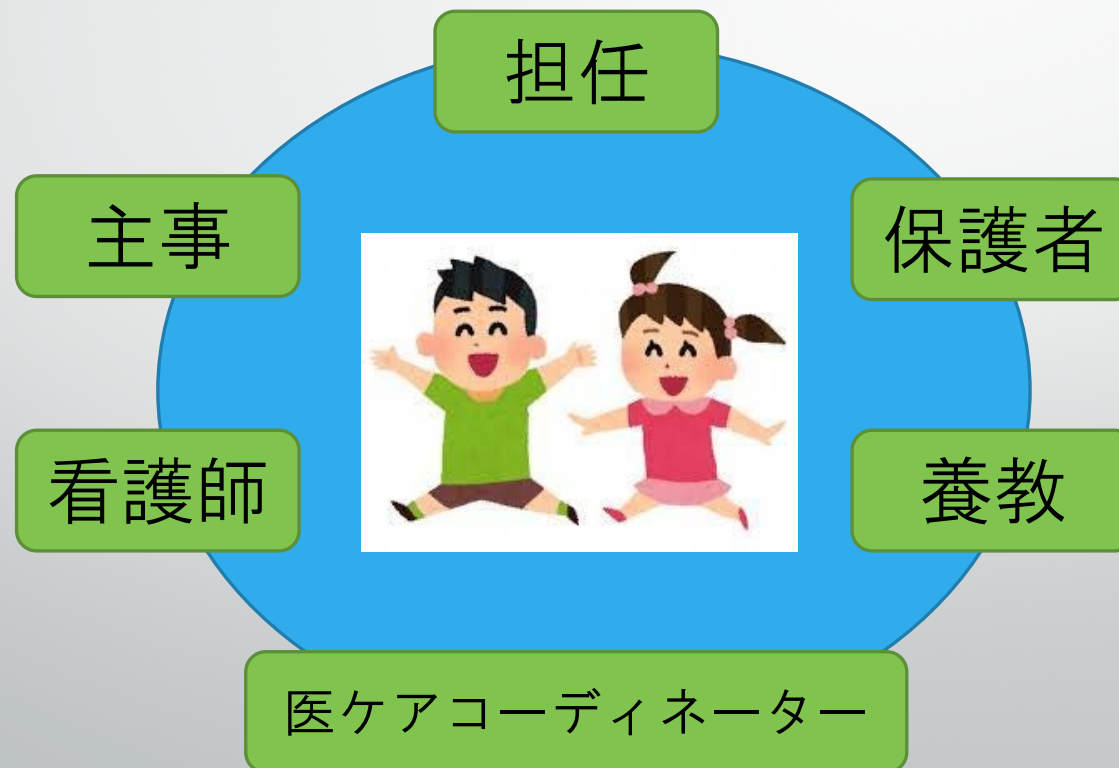
下校方法の確認



安全な医療的ケアの実施

医療的ケアコーディネーターの1日

- 児童生徒の体調やケアについての引き継ぎ



医療的ケアコーディネーターの1日

- 学校生活では…

授業フォローの調整

- ・ 看護師が必要とされる授業の確認、調整

連絡調整

- ・ 医ケアに関することについて関係者への連絡相談

学級フォロー

- ・ 人手不足等の学級のフォロー

医療的ケアコーディネーターの1日

- 児童生徒下校

- ・ 放課後等デイサービス利用時の体調確認
- ・ 1日のケアや体調についての申し送り
- ・ 放課後等デイサービスへの送り
- ・ 教員研修の計画、運営

医療的ケアコーディネーターから学ぶこと

- 担任と看護師の思いや考えをすり合わせていくことの大切さ、難しさ
- 「医療的ケア」を教育（自立活動）の一環として行っている千葉県原則を伝え、協力を得る
- 看護師が不安に思ったり、困ったりすることがないように、また、いつでも相談できる環境を整えることの大切さ
- “医療的ケア”は学校だけでなく、「家庭」「福祉」「医療」を含めた、それぞれの立場を知りつつ総合的に支援していくことの大切さ

特別支援学校における医療的ケアコーディネーターは

たくさんの方のことを学ぶ場

教育

医療

福祉



ご静聴ありがとうございました。

